

人権・同和教育 視聴覚ライブラリー(VHS)

番号	作品名	種別	上映時間	内容
V-1	新 泣いた赤おに	アニメ	20分	村人と仲良くなりたいと願う「赤おに」は「青おに」の助けで村人の信頼を得る。自分のために犠牲になってくれた「青おに」を心配して彼の家を訪ねると、家の入り口に「赤おに」への手紙が張ってあった。
V-2	きつねのかんちがい	アニメ	28分	井戸に落ちて溺れ死んだこぎつねのため、心やさしい若者が墓をつくり、葬ってやるが、こぎつねを殺されたとかんちがいがいた親ぎつねから嫌がらせを受ける。私たちは、「かんちがい」、「思い込み」、「きめつけ」によって相手を傷つけることがある。本作品は、合理的・科学的なものの方・考え方を身につけることを目的に制作された。
V-3	みんないちばん！	アニメ	13分	子どもたちは色々な経験をし、成長します。一人一人は違っていてもみんな素晴らしいところを持っています。友だちのいいところを認め、自分のいいところを見つける。自分も大切、相手も大切…。小さな森の小さな仲間たちのお話です。
V-4	きまりのないくに	アニメ	16分	楽しいことが大好きで、きまりなんかどうでもいいと思っていたキリコは、ある日、ネコの案内で不思議な「きまりのないくに」へ…。そこでいろんな体験をしたキリコは、ひとりぼっちの寂しさを知り、友だちを発見して、きまりの大切さに気づくという作品。
V-5	生きている	アニメ	15分	北九州市の小学校2年生が作った詩「生きている」を題材に、「いのち」について考えるドラマ作品。いのちの大切さや生きていることへの気づき。
V-6	やさしいオオカミ	アニメ	15分	悪の代表、暴力の代名詞にされているオオカミ、実は「いじめ」られ続けた気弱なオオカミは、やさしい心を持ち本当の強さを持っていた。
V-7	みんな友だち	アニメ	15分	偏見、公正公平、信頼、助け合いをテーマに、生きる力について、幼児や小学校低学年の児童に優しく考えさせます。
V-8	赤まんまの歌	アニメ	25分	信濃の民話を素材としたもので、封建社会での権力者の非道さや冷酷さと農民の悲惨な生活、その中で育ってきた主人公が口を閉ざすことしか抵抗の手段を見出せなかった重圧と苦しさを描いた作品。

V-9	シャッターチャンス	アニメ	25分	サラリーマンの家庭に育った高校3年生の主人公が、下町で伝統工芸の職人をしている叔父や、タイ人の叔母、同和地区出身者の写真家の生き方等に接し、自分の手で主体的に道を開いていく姿と、自分の価値観が正しいとかたくなに信じていた主人公の父親が、息子の進路問題に直面して、様々な生き方があることに気づく姿を描きます。主体的に生きていく力と、同和問題をはじめとする様々な人権問題に立ち向かう力の育成をめざします。
V-10	希望の春	ドラマ	54分	高校進学を断念しバイクで遊び回る少年と、難病を抱え死と直面しながらも希望を失わず周囲の期待に応えている少年の友情と心の成長、そして二人を支える院内学級の教師の気づきを描いており、人とかかわり方を見直すきっかけに出来る作品である。
V-11	ふるさと・平和への調べ —鹿児島 忘れがたき空襲の記憶—	ドキュメント	30分	昭和20年、鹿児島における大規模な空襲で被災した人々の、今も生々しい記憶。再び繰り返したくないという強い願いから、体験を語り伝えていこうとする活動と、それを受けとめる若い世代の様子を紹介する。
V-12	イタンキ浜の夏 艦砲射撃の爪痕	ドキュメント	25分	製鉄所などがあった室蘭では昭和20年7月14日は空襲、15日には艦砲射撃によって多くの人が亡くなった。市民は戦争の記憶を次の世代に繋ごうと紙芝居や戦跡めぐりを行っている。
V-13	根っこのルール —人権と同和の問題—	解説	37分	社会の中にはルールがあり、その中で最も重要なルールは人権です。人権は、社会生活の基本というべき根っこのルールです。ルールは私たちがお互いに生きていくために不可欠なものです。そこで根っこのルール「人権」を、同和問題を切り口に考えてみましょう。
V-14	名前…それは燃えるいのち	アニメ	18分	桜が舞い散る、新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜(カン) 明子(ミョンジャ)先生でした。元気いっぱいクラスのなかで、よりかと平吉は宿命のケンカ友達。名前のことでケンカになったよりかと平吉に、姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表してください。」翌日、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。…両親の深い愛情に気づいた、よりか。…ブラジルに移民した祖父を誇りに思う、平吉。そして姜先生にも、自分の名前への深い思いがありました。民族名を隠し、「あきこ」と名乗っていた中学生の頃、姜先生が出会ったのは、ゴダイゴの「ビューティフル・ネーム」でした。
V-15	ヒューマン博士と考えよう —差別から人権の確立へ—	解説	28分	歴史をたどりながら、差別された人びとの生産と労働、芸能や文化への関わりを、「ヒューマン博士」が分かりやすく解説をしている。歴史の中でつくられた偏見や差別の解消をねらいとした作品。(対象)一般、教職員、小・中・高校生
V-16	人権入門 日常から考える10のヒント	解説	23分	ある男性の一日の出来事の中に「相手の立場で考える」ことをはじめ、「人権を考える10のチェックポイント」を設け、いろいろな角度から日常の中の身近な人権について考えます。日常生活を人権の視点で見直し、人権問題を自分の問題として考えることの大切さを訴えています。(高・一般)